

第2回八王子市みどりの基本計画策定検討懇談会 平成30年10月15日（月）

「八王子市みどりの基本計画の 基本方針等について」



1. みどりの機能について

“みどり”とは（現行計画P.3）

樹木・草花だけでなく、多様な意味を総合した広義の「自然的空間」

➡ 公園・農地・森林・河川・景観等多岐にわたる

みどりの持つ機能（現行計画P.4）

①環境保全

- ・地球温暖化の防止
- ・生物多様性の保全

②レクリエーション

- ・余暇空間確保
- ・自然と触れ合う機会

③景観形成

- ・風景の形成
- ・住空間の創出

④防災

- ・災害時の避難場所
- ・延焼防止効果

出典 ・都市緑地法運用指針
・公園緑地マニュアル
・新編 緑の基本計画ハンドブック

⇒ みどりが持つ代表的な機能として位置付け

みどりの持つ機能

ただし…

社会の多様化等により求められる機能は細分化

緑の多様な機能のうち、どの機能を強調するかについては、都市の実情や個々の緑地の特性などを踏まえ、柔軟に検討することが望ましい。（国土交通省 国土技術政策総合研究所 2016）

例えば…

例1) 青梅市緑の基本計画

- ① 環境
- ② 防災
- ③ 交流・観光
- ④ 景観

例2) 福岡市緑の基本計画（緑の役割）

- ① 都市環境の改善
- ② 生物の生息・生育環境の維持
- ③ 災害の防止、避難地の確保
- ④ レクリエーションの場の提供
- ⑤ 美しくやすらぎのある風景の形成
- ⑥ 歴史的風土の継承

八王子市の特徴

① 都市公園の多さ

② 多様な自然環境

①都市公園

- 多くの住民が同時に集える場
(例：高齢世代から子育て世代
古くから住む住民から新たに居住してきた住民)



多様な世代の交流・連携の機会

地域コミュニティの形成

②多様な自然環境

- 自然とのふれあいの場
(例：自然体験の少ない現代の子どもに対して、
遊びながら体験・学べる場)



自然への理解度を深める機会

子育て・教育

都市防災向上

- ・災害時の避難場所
- ・延焼防止効果

環境保全・改善

- ・地球温暖化の防止
- ・生物の生息空間

景観形成・創出

- ・風景の形成
- ・良好な住空間の創出

みどりの機能

レクリエーション

- ・余暇空間、心の安らぎ
- ・健康運動の場

子育て・教育

- ・子どもの健全な育成の場
- ・自然と触れ合う機会

地域コミュニティ形成

- ・多世代間交流の機会
- ・地域が集まる場の提供

みどりに多機能性を持たせる

⇒「みどりの質の向上」

2. 基本理念、将来像について

基本理念（現行計画P.26）

みどりを市民・事業者・行政の協働により次世代に継承する



上位計画の方向性に変更なし

重視する改定のポイント

- ① みどりの質の向上
- ② 協働によるみどりの保全



事務局素案

みどりの機能を活かし、市民・事業者・行政の協働により次世代に継承する

<提案主旨>

本市の多様なみどりを、質の向上を行いながら、協働による取り組みを推進する。

みどりの将来像（現行計画P.27）

自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』



将来像が文章のみで説明

ビジュアルでわかりやすい構成に変更



事務局素案

自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』

将来像の追加

<提案主旨>

みどりが豊かな本市にとってみどりと調和したまちづくりは必要不可欠な要素。そのため、将来にわたりみどりの中で快適に過ごせる都市を目指す。

将来像イメージ

エリアの区分

- : 山地のみどり
- : 丘陵地のみどり
- : 市街地のみどり

みどりの骨格

- ■ ■ : 水辺のみどりの骨格軸
- ■ ■ : 道路沿いのみどりの骨格軸

山地のみどり



丘陵地のみどり



- 河川
- ◆◆◆◆ 鉄道
- 主な道路
- 高速道路
- 6 地域区分

地域ごとに拠点となるみどりを設定

拠点となるみどり

- : 都市公園
- : 地域における拠点公園の整備 (検討中)
- : 自然とまちと人を結ぶ拠点等 (検討中)

市街地のみどり



- 道路空間・沿道沿いのみどりの軸
-
- ※みどりの将来像を記載

- 河川空間を利用した水辺のみどりの軸
-
- ※みどりの将来像を記載



3. 基本方針について

本市のみどりの特性

森林・里山・農地・河川など
多様な自然環境が存在

「保全の対象とした
緑地面積」の確保

都市公園数、
市民一人あたりの面積の増加

特性の活用

本市のみどりの課題

みどり率の減少

みどりの既存ストックの
有効活用

担い手の減少

市街地のみどりの少なさ

課題の解決

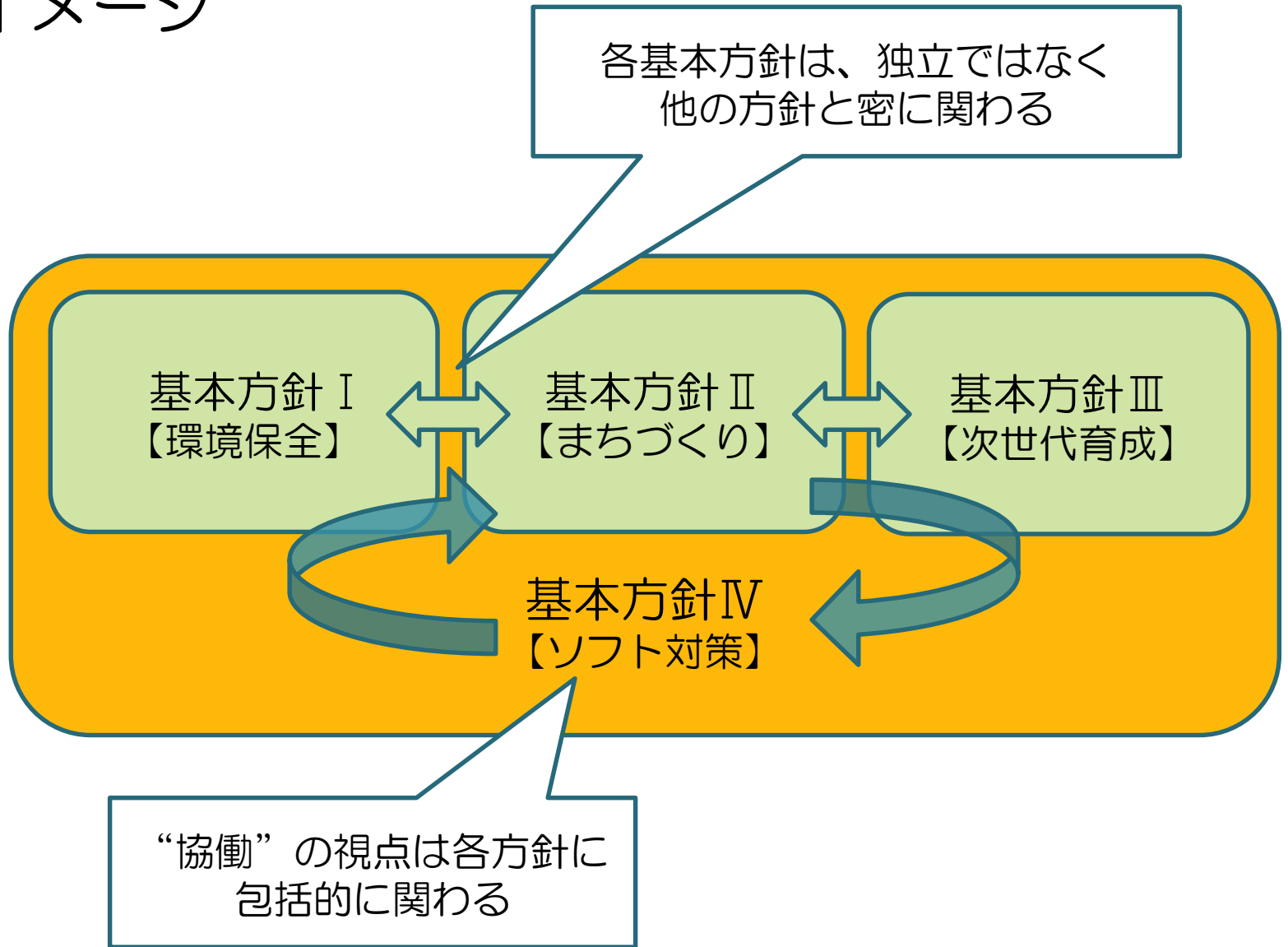
必要
な考
え方

- ① 多様なみどりの次世代への継承
- ② みどりの量の安定的な確保
- ③ 質の向上による既存ストックの有効活用
- ④ 地域の拠点となるみどりの整備
- ⑤ 協働の取り組みへの持続性確保

基本方針（事務局素案）

- I みどりの持つ多面的な環境機能の保全
【環境保全の視点】
- II みどりを活用したまちづくりの推進
【まちづくりの視点】
- III みどりを通じた環境教育・環境学習の推進
【次世代育成の視点】
- IV みどりを保全・活用する仕組みの構築
【ソフト対策の視点】

イメージ



I みどりの持つ多面的な環境機能の保全 【環境保全の視点】

【基本的な考え方】

- 山地、丘陵地等の多様な地形
- 樹林地や農地、河川などの豊富な自然環境
⇒ 生物の生息環境、水源涵養機能、温室効果ガス吸収機能など多面的で、持続可能な社会形成のために重要な機能が存在。
- 一方、生産緑地や市街地内樹林地の減少等のみどりの量が減少。



多面的なみどりを次世代に向けて保全する施策を展開

施策の方向性（施策方針）

- 里山の保全
- 水辺環境の保全
- 斜面緑地の保全
- 農地の保全
- 山林の保全
- 市街化調整区域のみどりの保全
- 生物多様性確保の推進
- みどりのネットワーク形成

Ⅱ みどりを活用したまちづくりの推進

【まちづくりの視点】

【基本的な考え方】

- みどりの機能：多様な機能を同時に発揮できることが最大の利点
- 多機能性の発揮より、「安心・安全」「地域経済・活力の向上」「地域コミュニティの醸成」
⇒ 市民のQOL向上に貢献
- みどりを「つくる」「守る」だけではない「活かす」視点。



みどりを「地域の資産」として捉え、利活用重視の施策を展開

施策の方向性（施策方針）

- 公園、緑地の活用・整備
- 公園の多機能性の向上
- 都市部の緑化推進

Ⅲ みどりを通じた環境教育・環境学習の推進 【次世代育成の視点】

【基本的な考え方】

- みどりの現状や環境の大切さに対する正しい理解
- 持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材の育成
⇒特に次世代を担う子どもに対して求められる
- 幼少期の自然体験量が多い程、生きものに対して高い受容性
⇒都市部での生物多様性促進のためにも重要



次世代を担う子どもに効果的な環境教育を実施できる施策を展開

施策の方向性（施策方針）

- 自然教室等の開催
- 環境教育の場の提供
- 学校との連携

Ⅳ みどりを保全・活用する仕組みの構築 【ソフト対策の視点】

【基本的な考え方】

- 市民や事業者等の多様な主体の参加が不可欠
- 整備や維持管理の担い手は不足。今後は現状一部の人に限られている担い手が、高齢化などによる縮小が予想。
⇒ 担い手のすそ野を広げていくことが求められる。
- 一方、担い手の方々が活動する場がサードプレイスとなることで都市の愛着度向上の効果も期待できる。



多様な主体との協働を促進させるための施策を展開

施策の方向性（施策方針）

- 市民参加の推進
- CSR活動の促進
- みどりの普及・啓発
- みどりの活動に関する支援
- 広域での自治体間連携

4. アンケート調査について

【概要】

- ① 八王子市市民参加条例に基づき市民の意見及び意識等を把握し、改定のための基礎資料として活用。
- ② 市民意識の変遷を把握するため、現行計画策定時に実施した「環境に関する意識調査」（平成20年）の設問を一部踏襲する。
- ③ 新計画の基本方針及び新しい施策に関連した設問を盛り込む。
- ④ 若年層（子どもを含む）の意見を収集する。

【事前調査】

平成29年度市政モニター 第1回アンケート

- ・ 実施所管：広聴課
- ・ 実施期間：平成29年8月14日～8月28日
- ・ 郵送数：100人（男女各50人）
- ・ 回収率：96%（男性48人、女性48人）
- ・ 結果：みどりの量が5年程前に比べてどうなっているか？
 - ⇒ 変わらない：51% やや減っている：22.9%みどりの「質を高めること」と「量を増やすこと」のどちらが大切か？
 - ⇒ 市街地部 質：68.8%、量：31.3%
 - 郊外部 質：71.9%、量：28.1%

【調査概要】

市民アンケート

- 対 象：八王子市在住の18歳以上の男女個人
- 調査期間：平成30年12月頃～1月頃
- 標 本 数：2,000人
- 方 法：郵送による配布・回収（自記式・無記名）
- 抽出方法：住民基本台帳からの層化無作為抽出方法
⇒配布数：6地域の調査対象人口に応じて比例配分
対象者抽出：地域別に単純無作為抽出
- 設 問 数：15～20問を予定
- そ の 他：別途、400部送付可能

【想定調査項目】

① 属性調査

- ・年齢（年代）、性別、居住年数、居住地域

② みどりの状況

- ・みどりの量の増減について

【例：Q ここ10年で八王子市のみどりは増えていると思いますか？】

A 増えた・やや増えた・変化が無い・やや減った・減った

- ・みどりの満足度について

【例：Q 八王子市全体のみどりについて、どう思いますか？】

A 満足・やや満足・普通・やや不満・不満

- ・市内で恵まれているみどり、守っていくべきみどりについて

【例：Q 八王子市のみどりのうち、特に守り育てる必要があるものはどのようなみどりだと思いますか？】

A 公園、田畑、街路樹、社寺林、生け垣、丘陵地 etc

⇒ 具体例を提示し複数選択

③ 利用実態について

- 公園・緑地の利用頻度や目的、よく利用する公園緑地名について
【例：Q 八王子市内で最もよく利用する公園・緑地はどこですか？】

A 記述式

- 利用目的について

【例：Q 上記で回答した場所は、主にどういった目的で利用しますか？】

A 休憩・休息、子どもや孫の遊び場、スポーツ・運動をするため
生きもの観察するため、行事やイベントに参加するため etc
⇒ 具体例を提示し複数選択

- 利用頻度について

【例：Q どのくらいの頻度で利用しますか？】

A ほぼ毎日・週に数回・月に数回・数か月に1回・その他

④ 公園について

- 公園の役割（機能）について重要と考えるものについて

【例：Q お住まいの地域にどのような公園を望みますか？】

A 災害時の避難場所となる・生きもの観察ができる
気軽にスポーツができる・飲食店が併設されている etc
⇒ 具体例を提示し複数選択

⑤ 農地について

・農業との関わりについて

【例：Q 農地の活動に関わっていきたいと思いますか？】

A 本格的な農作業・田植え等体験的な農作業

市民農園等で家庭菜園・農業ボランティアで農家の手伝い
特にない

⑥ 協働について

・みどりとの関わりについて

【例：Q 公園・緑地等の維持管理活動に参加していますか？】

A 参加している・参加していない

⇒参加している場合、どのような活動をしているか

【例：Q もし機会があるのなら、どのようなみどりの活動に関わっていきたいと考えていますか？】

A 花づくり等の緑化活動・山林の保全活動・公園の手入れ
緑化のための募金・園芸等の講習会・特にない etc

⇒具体例を提示し複数選択

【例：Q 楽しさややりがいを感じられる活動はどのような活動ですか？】

A ご近所の方と活動できる・多世代と活動できる
成果を発表できる・好きな時に活動できる etc

⇒具体例を提示し複数選択

⑦ 環境教育について

- ・子どもがいる世代向け

【例：Q 子どもに体験させたい環境教育はどのようなものですか？】

A 自然観察・生きものの採集・木材を利用したクラフト

火起こし・沢遊び etc

⇒具体例を提示し複数選択

⑧ 今後の方針について

- ・みどり保全と開発の調和について

【例：Q 自然のみどりの保全と開発との調和について

考えを教えてください】

A みどりの保全を優先

開発はやむを得ないが可能な限りみどりを残すべき

開発でみどりが無くなる場合、代替のみどりをつくるべき

開発のために、みどりが減ることはいたしかたない

開発を優先

【例：Q 今後、市にはどのようなことに力を入れてほしいですか？】

A 公園の整備・街路樹の整備・農地の保全・市民農園事業

緑地の公有化・苗木や花の無料配布・自然観察会等イベントの開催

⇒具体例を提示し複数選択

